

霧島火山のアカホヤ噴火以降（最近約7300年間）の噴火史

鬼界カルデラのアカホヤ噴火（約7300年前）以降に噴出した霧島火山の噴出物の地質図とその活動時期を図1, 2にまとめる。最近7300年前以降、えびの高原地域（硫黄山周辺）、大幡山、新燃岳、中岳、御鉢、高千穂峰、御池などで噴火活動が生じた。1716-17年の新燃岳の噴火（享保噴火）の後、えびの高原地域の硫黄山上で1768年に噴火が発生した。しかし、他の新燃岳の活動期に必ずしもえびの高原地域の火山活動が活発化しているわけではない。

文献: 及川ほか(2013)地質調査総合センター研究資料集, no.580より

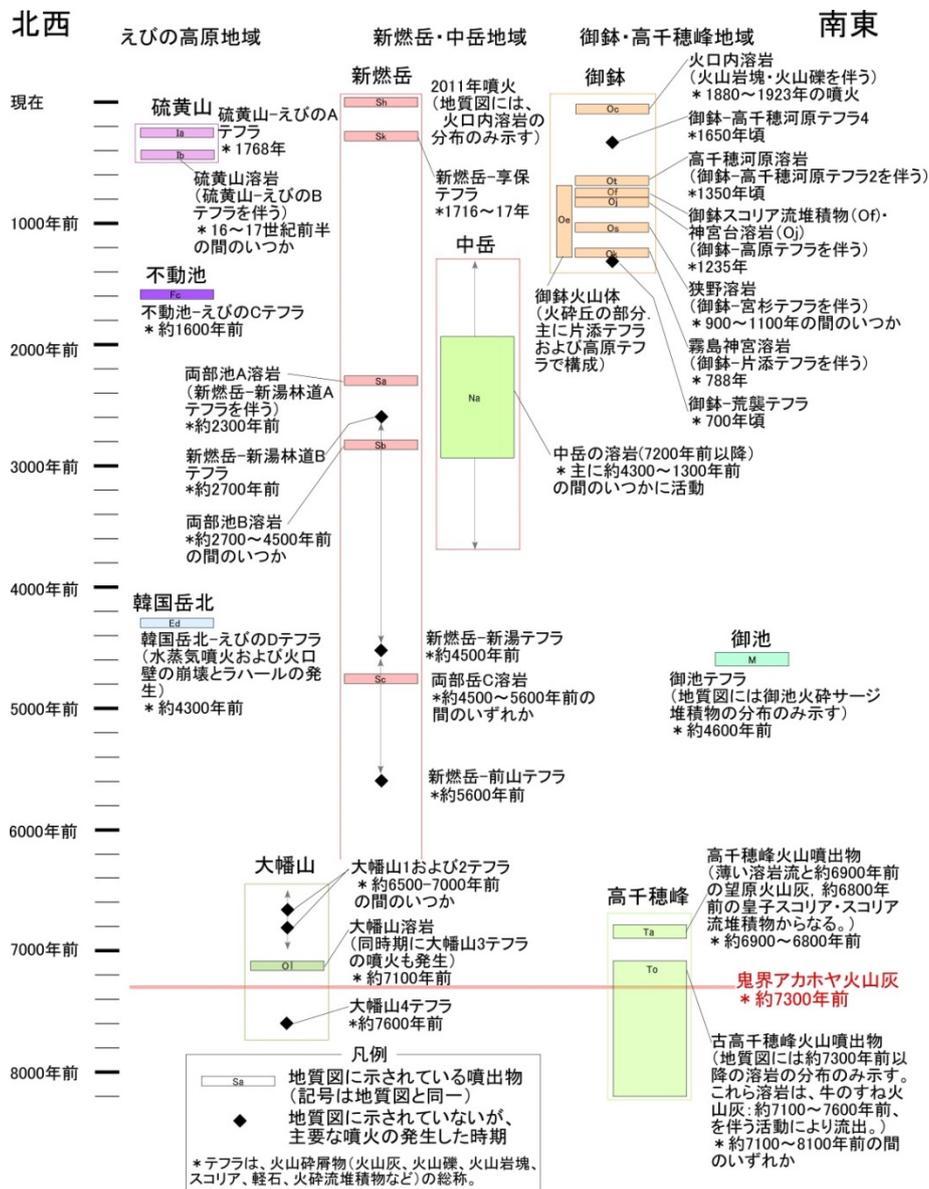


図1 約7200年前以降の霧島火山の活動史(及川ほか, 2013より)。

図 1, 2とも同じ英字は同じ噴出物を示す。「〇〇年」との表記は西暦,「〇〇年前」は現在から遡った年前である.

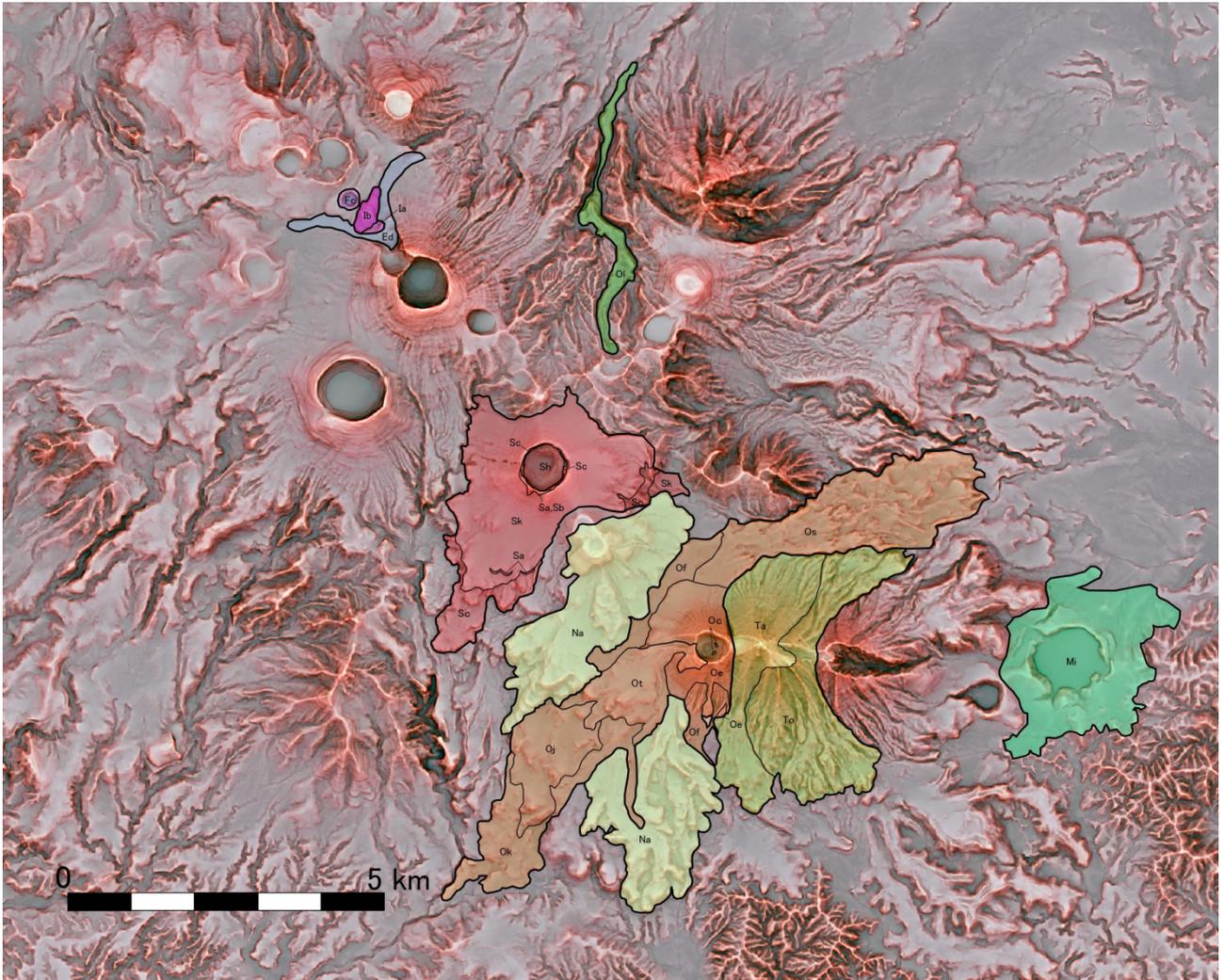


図 2 霧島火山の火山地質図(約 7200 年前以降の噴出物のみ示す)

及川ほか(2013)より. 基図は国土地理院 10mメッシュ(標高)を使用して作成した赤色立体地図(アジア航測(株)作成)を使用.